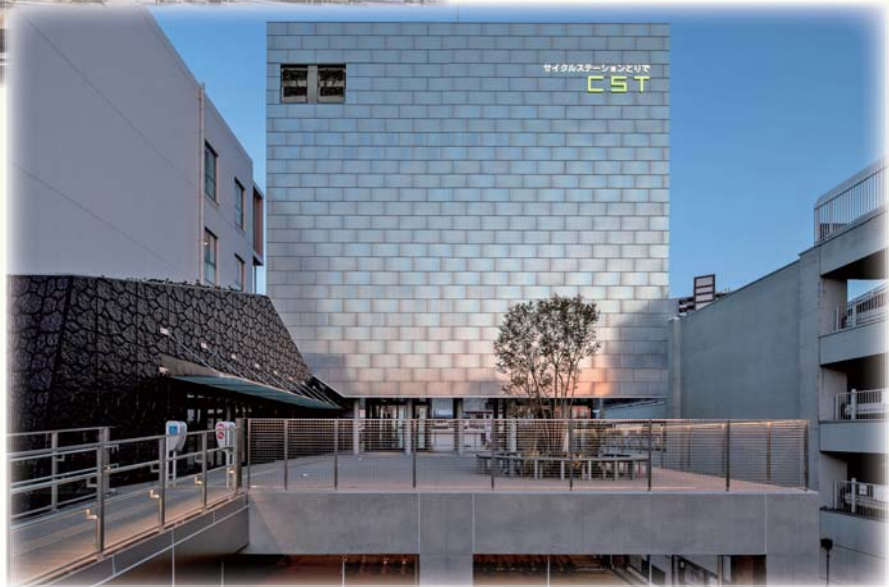




いばらきの景⑧ 取手駅西口歩行者デッキとサイクルステーションとりで (CST)



【夜のCST】

取手駅西口では歩行者デッキの整備により、地形による高低差を解消し、歩行空間のバリアフリー化を実現しました。整備前と比べて、取手駅西口周辺の歩行者数は約1.5倍に増加しており、回遊性の向上に寄与しています。また、歩行者デッキは民間医療モールとも直結しており、官民一体となった「健康・医療・福祉」のまちづくりの象徴とも言える歩行空間です。

サイクルステーションとりで (CST) は、県内初の機械式と自走式が併用された駅前駐輪施設です。温暖化対策やデザイン性を考慮して壁面緑化を行い、「グッドデザイン賞」や「全国建設技術協会賞」を受賞するなど、まちのシンボルとして市内外から注目を集めています。平成27年10月に開館した複合施設「取手ウェルネスプラザ」と併せて、取手駅周辺の活性化や賑わい創出のための大きな役割を担っています。また、CSTの整備により放置自転車の台数が大幅に減少し、そのスタイリッシュな外観とともに、茨城県の玄関口を担う取手駅の良好な景観の形成に貢献しています。取手駅にお越しの際には、新しい取手駅のランドマークを是非ご覧になってください。

取手市都市計画課 石川 英明